

地域再生先進地 熱海に学ぶ これからのまちづくり

地域づくりの第一歩は現地を知ることだった。熱海の再生の立役者として知られる市来広一郎氏が幼少期にみた熱海の活気を取り戻すために手がけたのは、調査活動だった。那須野ヶ原の森林は私たちが暮らす地域の重要な資源。この緑を生かすことが、暮らしを豊かにする。商店街という資源を生かして故郷の再生を手がけた氏の取り組みには、地域づくりの魅力と明るい未来のヒントが隠されている。

令和3年

1月20日水

15:00~16:30

会場▶オンライン(Zoom)

※お申し込み後にZoomのURLをお送りいたします。

申込方法

①お名前②ご所属③お電話番号を、下記メールアドレスに送信いただきお申し込みください。

npo1000mori@gmail.com

申込期限:令和3年1月18日(月)

主催:



1000年の森を育てるみんなの会

<https://1000mori.jimdofree.com>

「この事業は、公益財団法人トヨタ財団の助成を受けて行われます」

講演(約50分)

「地域再生先進地 熱海に学ぶ
これからのまちづくり」

市来 広一郎氏 株式会社machimori代表取締役
NPO法人atamista代表理事

1979年静岡県熱海市生まれ。東京都立大学(現・首都大学東京)大学院理学研究科(物理学)修了後、IBMビジネスコンサルティングサービス(現日本IBM)に勤務。2007年熱海にUターンし、ゼロから地域づくりに取り組み始める。遊休農地再生のための活動「チーム里庭」、地域資源を活用した体験交流プログラムを集めた「熱海温泉玉手箱(オンたま)」を熱海市観光協会、熱海市と協働で開始、プロデュース。2011年民間まちづくり会社「machimori」を設立、2012年カフェ「CAFE RoCA」、2015年ゲストハウス「guest house MARUYA」をオープンし運営。2013年より静岡県、熱海市などと協働でリノベーションスクール「@熱海」も開催している。2016年からは熱海市と協働で「ATAMI2030会議」や、創業支援プログラム「99℃」なども企画運営している。(東洋経済ホームページより)

コメント(約15分)

松原 明氏 NPOシーズ・市民活動を支える制度をつくる会
元代表理事

シーズ・市民活動を支える制度をつくる会創業者・理事、事業戦略コンサルタント。1960年大阪府生まれ。神戸大学文学部哲学科卒。広告制作会社、フリーの経営コンサルタントを経て、1994年、NPO立法を推進する「シーズ・市民活動を支える制度をつくる会」を創設。1998年のNPO法創設、2001年の認定NPO法人制度創設、2009年のNPO法人会計基準策定、2009年の日本ファンドレイジング協会設立、2011年のNPO法改正などを推進。NPO支援制度やNPO支援機関の創設に取り組んできた。自治体とNPOのパートナーシップ推進なども行う。内閣府「新しい公共」推進会議委員。千葉県「NPO推進会議座長」などを担当。

『「国家」の限界が見えてきた。』(共著、ダイヤモンド社)、『NPO法コンメンタール』(共著、日本評論社)、『ハンドブック市民の道具箱』(共著、岩波書店)など著書多数。(ガラスルーツスクールホームページより)